



笑顔いっぱい！歌声いっぱい！の 初等部生の願いが叶いますように！

部長 松本安博

今年も初等部の丸玄関に七夕の笹が飾られました。手作りの短冊には、一人ひとりの願いがしたためられています。現在努力したいことや将来実現したいことなど、願いの内容は様々です。笹を見上げながら結び付けられた短冊を読んでいますと、未来社会を志高く、「夢」と「希望」をもって健やかに成長していこうとする初等部生の姿が見えてきます。

- 家族がしあわせで健康にいられますように。
- リレーの選手になれますように。
- 海洋研究家になれますように。
- 母といっしょに仕事ができますように。
- しんかんせんのうんでんしゅになれますように。
- 管理栄養士になれますように。
- しょうぶの先生になれますように。
- なぎなた全国大会優勝。
- 水泳の日本大会に出られますように。
- 世界のかんきょうが良くなりますように。

さて、初等部ではこの春から月に一度、全校で合唱する「毎月の歌」に取り組んでいます。「ピアノがじょうずになりたい。」など、音楽関係の願いがしたためられた短冊もたくさんありましたが、この「毎月の歌」の誕生に込められた思いや願いを少し紹介したいと思います。

昨年度末のことです。二人の初等部生が部長室を訪れてくれました。手には、パンフレットらしきものを持っていました。そして、私にそのパンフレットを見せながら、「Nコンに出たいんです。合唱クラブを作ってください。」と、声をそろえて言うのでした。確かに初等部には、神奈川県私立小学校協会主催の音楽会に出場する器楽クラブはありますが、合唱クラブはありませんでした。そのことをきっかけに、今年度、合唱クラブが作られました。

これまでも毎年2月に実施される「音楽会」では、各学年一丸となって器楽合奏と合唱に

取り組んできました。しかし、二人はドキドキしながらも「もっと初等部に歌声を」との内なる声を私に届けてくれたのでした。私は、その自主自発的で意欲的な申出がうれしくなりませんでした。

時は重なるものです。そのことと並行して、音楽の先生もこの春から全校による「毎月の歌」の実施を検討してくれていました。保護者のみなさんが運動会で聞いてくださった、あの元気な「Go!Go!Go!」の歌も、「毎月の歌」6月の歌でした。今は始業前になりますと、7月の歌「Believe」の曲が静かに流れています。

先週の朝のことでした。私が丸玄関から職員室に向かって歩いていましたところ、階段の中ほどから美しい歌声が聞こえてきました。そして、階段を上がっていく子どもたちが、一人、二人と加わり、自然発生したその歌声はいつしか大きくなっていきました。私はしばし立ち止まり、その歌声が消えていくのを聞いていました。その美しいメロディーと歌詞は、学年を越えて子どもたちの心を温めているようでした。

「I believe in future 信じてる」。子どもたちはどの子も「頑張りたい、より良くなりたい」と願っている存在です。「頑張りたいくても頑張れない。より良くなりたいくてもより良くなれない。」そんな子がいたとすれば、それはすべて大人の責任と思います。

私は、七夕の笹を見上げるごとに、また子どもたちの歌声を聞くたびに、そのことを思い起こします。そして、これからも各家庭との連携と協働のもとに、子どもたち一人ひとりのよさや可能性を引き出していきたいとの思いを強くしています。

今年も笑顔いっぱい、歌声いっばいの子どもたちの願いが叶うことを祈っています。

